



布施だより

《「スタンドグラス点灯式」50年のキセキ ～678人の心あったかいんだから～》

先週末18日(金)18:00より、夕闇に包まれた校舎で、「第50回銀河祭 スタンドグラス点灯式」が行われました。昼間降った雨溜まりを野球部の諸君がスポンジやトンボを使って見事に吸い取ってくれ、ぬかるみに足を取られることなく式が行われました。カウントダウンに先立って、銀河祭実行委員長の佐伯比菜子さんは次のようにスタンドグラス制作に賭けた気持ちを伝えてくれました。



～いよいよ点灯式がやってきました。この日のために、全校の皆さんにスタンドグラス制作をお願いしました。もうすぐ点灯するこのスタンドグラスは全校で創り上げたスタンドグラスです。皆さんの協力がなければ完成することができませんでした。ありがとうございました。今日の点灯式は第50回銀河祭の点灯式であるとともに、スタンドグラス制作が行われ、点灯式がスタートして10年目でもあります。また今皆さんが座っている場所は、雨のため水たまりがありましたが、野球部の皆さんが片付けてくれました。野球部の皆さん、ありがとうございました。全校の皆さんの協力があった点灯式を行うことができました。良い式にしましょう。～

続いてシンボルマークをデザインした赤塩沙紀さんはデザインに寄せたメッセージを次のように語ってくれました。

～全校の皆さん678人の心がひとつになり、記念すべき50回目にふさわしい一生記憶に残る最高の銀河祭になってほしいという思いで描きました。そんな思いで描いたので、このシンボルマークやスタンドグラスが全校の皆さんの心に思い出として残り、そして銀河祭が盛り上がりしてほしいと願っています。～

このスタンドグラス制作を始め、銀河祭の陣頭指揮をとり続けている「銀河祭実行委員会(銀実)」の担当顧問の重田直幸先生が、これまでの制作の歩みを報告してくれます。

〈 感謝 本当にありがとう 協力あつての点灯式 ～スタンドグラスの軌跡～ 〉

「先生、カラーセロファンが足りません」

点灯式まであと1週間。スタンドグラス全校制作を予定通り進められているかなと安堵していたときに、不測の事態が起こった。例年の点灯式に倣ってセロファンを注文し、少し多めに購入していたにもかかわらず、今年度のスタンドグラスは例年よりセロファンを多く使うため足りなくなってしまったのだ。しかも、発注先に問い合わせても、在庫が丁度切れてしまい、新しく入荷するのに2,3日掛かると言われてしまった。結局1年生の制作時に青のセロファンは間に合わず、作業の完成がその日のうちにできない状態になってしまった。できない部分は翌週、3年生



で何とかしようという話になり、1年生には申し訳ないことだが、セロファンが尽きたところで作業を終了してもらった。

最終週、セロファンが届き、無事セロファンの貼り付けが終了。月曜日、ラシャ紙のチョーク消し、火曜日、修正作業、窓枠のテープ貼りこの作業を終えた段階で、このままのペースでは点灯式の当日に間に合わない事に3役が気付き、居残りの願いを自ら申し出てくれた。顧問である私も焦りを感じていた。「見通しが甘かった、このままでは間に合わない・・・」点灯式まであと3日。実質あと2日でカーテンの設置、ハシゴを使ってのラシャ紙の貼り付け、ライトの設置・調整、配線確認、リハーサルをやらなければならない。あと2日で果たして本当に間に合うのだろうか。もう少し計画にゆとりを持つべきであったと、反省や申し訳ない気持ちでいっぱいだった。それでも銀河祭実行委員の3年生は時間がない中、水曜日急遽居残りをして作業をしてくれた。集中を切らさないで一生懸命作業を行ってくれた。また、計画では3年生が最終作業を行う予定だったが、銀実の2年生も応援を引き受けてくれ、さらには有志で実行委員以外の3年生も手伝いをしてきていた。また、3学年の先生方も顔を出し、作業のアドバイスや指示をしてくださった。



多くの方の協力があり着々と作業が進み、前日何とかラシャ紙の貼り付け、フットライトの調整、リハーサルまで準備を進めることができた。

最終日、ここでも不測の事態が起こった。剥がれているセロファンがたくさんあったのだ。このままでは窓枠にラシャ紙を貼り付けることができない。ただでさえ時間がないが、修正作業を加えながら、ラシャ紙の貼り付けを行った。高い場所の作業のため、安全に気を遣いながらも、限られた時間の中でやらなければならない。全員真剣になって作業を行った。途中、生徒会本部からの応援もあり、作業を着々と進めることができた。このとき、あの場にいた誰もが「点灯式に間に合わせたい。良い作品を作りたい。」という気持ちだったと思う。一人一人がまるでプロの職人のような真剣さが表情に表れていた。18:00になり、一般の完全下校を迎えた。手伝いをしてくれた2年生には帰ってもらい、3年生のみでライトの調整を行った。辺りが漆黒に包まれる中、ステンドグラスの灯りを見た3年生は喜びの顔に満ちあふれていた。しかし、喜ぶのは束の間、また職人の表情に戻り、「もう少し上の部分を照らして!」「全体が明るくなるようにライトを下げて!」とより、きれいに見えるように調整を行っていた。18:30、まだまだこだわりたいところが多くある中、作業を終了させ、3年生が玄関へ集まった。泣いても笑っても、残す時間は点灯式当日のみ、皆で気合いを入れるため副会長の発声の下、一本締めで締めくくった。解散前、生徒からの申し出があった。



「先生、どうしてもステンドグラスの修正作業をしたいので朝、上で作業をさせてください。」このままでは納得して点灯式を迎えることができません。時間ぎりぎりまで納得のできるように作業をさせてください。・・・そう訴えているように感じた。

翌日、7:30 ビーナスホールに行くと、既に銀河祭実行委員の3年生が作業を行っていた。同じ赤なのにカラーセロファンの色が違う。これでは見栄えが悪い。過去に購入したセロファンも利用していたため、若干種類が異なっていたようだった。細かいところも見逃さず、より良いものを仕上げたいという姿勢が3年生の共通する想いだった。幸い、過去のセロファンの束が残っており、その中から厳選し、修繕作業を行うことができた。リハーサルも終え、残すは点灯式のみ。



しかし、すんなりとは点灯式を迎えさせてはくれない。

15:00頃暗い雲が空一面を覆い、雨が降ってきた。前日の天気予報では確かに雨マークだった。

朝は晴れていたのですが、このまま天気が持ってくれるだろうと思っていたが、持ちこたえられず。このまま雨天決行かと思った。

16:00 全校合唱をしているなか、晴れ間がのぞいた。天気はもつかも知れない。しかし、玄関前は水たまりができ、生徒が集まる際に水たまりがあっとうまく整列ができるのかという不安が残った。

17:00 「先生、のり付けした部分が剥がれています。修正作業を行って良いですか」自主的にステンドグラスの点検・修復作業を名乗り出てくれた生徒がいた。剥がれているところの修正を行った。修正作業をしていると、玄関前で野球部のみんながバケツとスポンジを持って水たまりの水を除いている。「先生、点灯式に向けて野球部に手伝わせてください。水たまりをのぞきます。」野球部員がそう言って作業してくれた。ただただ感謝だった。



17:30 3年生ビーナスホール集合。自分たちの役割を確認する。点灯役、BGM 役、中継役に分かれ、準備リハーサルを繰り返し行う。17:45 もう後戻りはできない。皆で円陣を組む。「点灯式成功させるぞ。オー！」全員の気合いが入り、委員長から全校へ放送が入る。17:55 点灯式 5 分前。銀河祭実行委員、生徒会役員の人たちが整列の指示し、昇降口前にたくさんの人たちが並ぶ。

18:00 点灯式が始まる。副委員長の丁寧な呼びかけや後ろにいた本部の3年生が注意をしてくれることにより、整然とした状態で式が始まった。そして委員長からステンドグラス完成に向けて全校に対する感謝の思い、協力してくれた方々への感謝の思い、そしてシンボルマーク考案者からシンボルマークに対する思いが伝えられた。

いよいよカウントダウン。「10, 9, 8」声が揃い、大きくなっていく。「7, 6, 5」中継役がビーナスホールへ走って行き、中の点灯役に大きな声で伝える。「4, 3, 2, 1・・・」点灯役も大声でカウントダウン。全員の緊張が高まる。

「点灯！！」

ライトアップされたステンドグラスの前に、「オー！！」という感嘆の声が上がった。爽やかな笑顔、良かったという喜びや安堵。そして自然と起こる拍手があった。

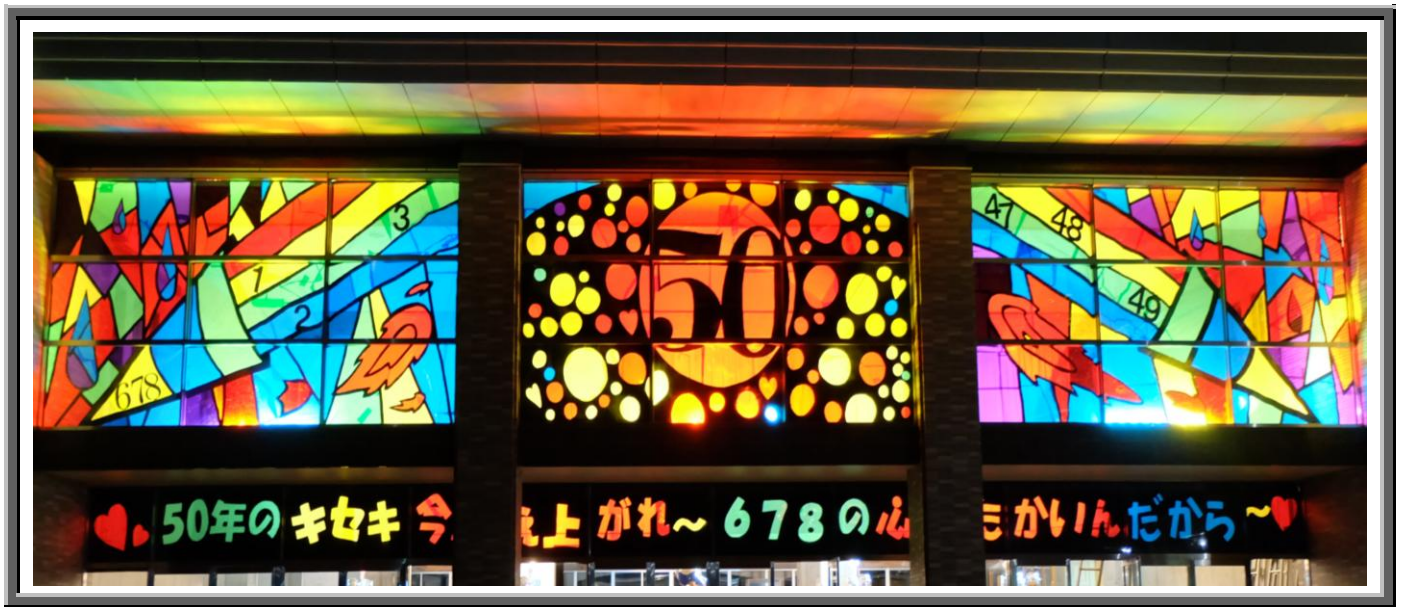
点灯されたステンドグラスはきっといつまでも心の中で消えないで残っている。

不測の事態がたくさんあったにも関わらず無事、点灯式を迎え、終えることができたのは、全体を指揮し、悩みながらも一生懸命動いた委員長。委員長に指示されたことをしっかり返事し、全力で行動に移す副委員長。和ませながらも2人をしっかりサポートした書記、昨年度の経験を糧に周りに指示をだし、作業を進めていく委員や、経験がなくとも次にどうすれば良いのか確認し、テキパキ動く委員。急遽手伝いをしてくれた2年生委員。水たまりを除いてくれた野球部のみんな。整列の呼びかけをしてくれた生徒会役員。全校制作で作業を行った各学年の生徒達。全校の協力と支えがあったからこそ、無事、点灯式を迎えることができました。これから始まる銀河祭。



まだまだ準備することもあれば想定外の事も起こりうるかも知れませんが、しかし、全員で力を合わせて仲間に対する感謝の気持ちがあれば今年のスローガン「50年のキセキ今燃え上がれ〜678の心あたかいんだから〜」に向けて全校が一丸となって銀河祭を迎えることができるでしょう。

カウントダウンを終えた生徒諸君が安全に帰れるよう、「気をつけて早く帰ってくださ〜い。」と気遣う声があちらこちらから聞かれ、カウントダウンを単にお祭り騒ぎに終わらせることなく、はじめと節度をもったものにしたいという「第50回」に向かう穏やかなで真っ直ぐな気迫が伝わってきて、最後まで本当に素敵な時を過ごすことができました。このステンドグラスが「第50回銀河祭」に花を添えてくれることになります。これから平日の毎夕刻、生徒玄関に点灯し続けます。是非、ご覧になりにお出でかけください。



《 スポーツ活動に、エコランに、 収穫の時です！ 》

- <技術部> Honda エコマイレージチャレンジ 2015 全国大会 in 栃木県茂木 9月19・20日
・クリエーション 第5位 ・エボリューション 第7位 (30チーム中)
- <サッカー部> 市中新人大会 9月20・21日
1回戦 対櫻ヶ岡 ●0-1 2回戦 対三陽 ○1-0
3回戦 対豊野 ●0-2 3回戦 対松代 ○1-0 11位で北信大会へ
- <陸上競技部> 東北信新人大会 9月23日
中島啓貴さん 共通男子 400m 6位 (56秒27)
大澤寿騎さん 1年男子走り高跳び 8位 (1m25)
森奈乃佳さん 1年女子走り高跳び 8位 (1m20)
室賀早登さん 2年男子走り幅跳び 8位 (4m98)
- <男子テニス部> 個人新人戦 9月20日
2年生ベスト8 北村太陽・神林優太さんペア
1年生ベスト8 近藤稜 ・柳原一輝さんペア 中澤康介・石坂駿さんペア
海野将希・風間一優さんペア

今年の「学校ランドデザイン」の3つの柱<基礎・基本の学力の確かな定着と「活用する力」の向上><互いを尊重し合い、支え合い高め合う仲間づくり><生徒理解に基づくチーム支援の充実と生徒指導の組織的な対応>の内、2つめの<互いを尊重し合い支え合い高め合う仲間づくり>に焦点を当てた銀河祭までの、そして当日の追究活動になります。

スタンドグラス制作や歌声づくり、教科学習の充実と発表、部活動の集大成であるステージ発表展示等々、仲間のこれまでの努力や踏ん張りを共有し、「よく頑張ったねえ〜、良かったよ〜。」「ありがとう、嬉しかった！」と言い合える2日間が今年も始まろうとしています。

「第50回銀河祭スローガンである<50年のキセキ 今燃え上 がれ ~678人の心あったかいんだから~ (今井亜美さん 考案) >を、みんなで実感し、みんなで喜び合う、・・・そんな一瞬一瞬が始まろうとしています。そんな生徒諸君の活躍と成長をぜひご覧になってください。

多くの皆様のご来校を心よりお待ちしております。(詳細は本日配布の「ご案内」をご覧ください。)

<10月2日(金)>

- ・登校 8:10
- ・開祭式 9:00~ 9:30
- ・ステージ発表(意見発表、英語弁論) 9:40~10:15
- ・総合的な学習発表 10:15~11:15
- ・自由見学 11:20~11:55
- ・生徒会企画 12:50~13:50
- ・洋裁部発表 13:55~14:10
- ・合唱部発表 14:15~14:50
- ・吹奏楽部発表 15:00~15:35

<10月3日(土)>

- ・登校 8:10
- ・音楽会 8:50~12:00
- ・閉祭式 13:00~14:00

